



## 共に育つROOKIES

NPO 法人子どもセンターPAO 理事長

弁護士 多田 元

わたしは NPO 法人子どもセンター「パオ」で働いている子どものパートナーになる弁護士です。

「パオ」というのは、モンゴルの砂漠で利用される家の名前ですが、

いろいろな事情で虐待などによって傷つき、生活のよりどころになる家庭や居場所を失っている子どもたちを社会の冷たい風から守る「パオ」でありたい

…そういう願いをこめて、子どもたちに安心と安全が保障された居場所を提供するシェルターや自立援助ホームを開いています。

子どもセンター「パオ」で出会ったひとりの女性は、

親の虐待にさらされたつらい子ども時代の過去の記憶は変えられないけれど、その過去があつて「パオ」での良い出会いがあり、今の自分がいると、明るく話してくれました。

その彼女の明るいたくましい笑顔に励まされ、勇気づけられます。

子どもセンター「パオ」の合い言葉は

**「どんなあなたもすてきなあなた、あなたのままでいいんだよ」**です。

心が深く傷つけられ、生きている価値も見失いそうになる子どもたちの自立のために、

まず必要なことは、

**指導ではなく、「支える」こと。**

あなたはそこにいていいよと温かく見守ることができる「隣る人」の存在ではないでしょうか。

そういうものがあつてこそ、

子どもたちは自分にも取り組める仕事を見つけて就労、自立へと歩むこともできるのでしょう。

その子どもたちの自立への思いを受けとめ、就労のチャンスを提供して下さる仲間こそROOKIESです。

格差、貧困、無縁社会などと言われる現代の社会であるからこそ、

人と人のあたたかい絆をつなぎ、共に育つROOKIESの存在はとても大切です。